

No. 7, pp. 35 - 40

25. VIII. 1966

寄せ蛾記

埼玉蛾類談話会 発行

YOSEGAKI ; THE SAITAMA HETEROCHERISTS' GROUP

*奥多摩の蛾類(3)

並木彬雄

採集品目録

GEOMETRIDAE

1. *Chlorissa tyro* ホソバハラアカアオシマク 1 ex.
2. *Comibaena derication* クロモンアオシマク 1 ex.
3. *Jodis putata orientalis* ヒメウスアオシマク 1 ex.
4. *Coenotephria obscura* フタモンクロナミシマク 1 ex.
5. *Gondaritis fixseni magnifica* キマダラオオナミシマク 1 ex.
6. *Ecliptopera decurres illitata* セスジナミシマク 1 ex.
7. *Eustroma aerosa* キアミメナミシマク 1 ex.
8. *Sibatania noctata* ビロードナミシマク 1 ex.
9. *Melanthis procellata inguinata* ナカジロナミシマク 1 ♂
10. *Synegia haddasa* ハグルマエダシマク 1 ex.
11. *Semiothisa pluvia* ウスオエダシマク 1 ex.
12. *S. shanghaisaria* シャンハイオエダシマク 1 ex.
13. *Luxiaria anasa* トビカギバエダシマク 1 ex.
14. *Phthonosema invenustaria* トビネオオエダシマク 1 ex.
15. *Buzura recursaria superans* ウスイロオオエダシマク 1 ♂
16. *Racotis petrosa* ナミスジエダシマク 1 ex.
17. *Thinopteryx delectans* ミヤマツバメエダシマク 1 ex.
18. *Ephoria arenosa* サラサエダシマク 1 ex.
19. *Pareclipsis gracilis* ツマキリウスキエダシマク 1 ex.
20. *Corymica specularia pryeri* ウコンエダシマク 1 ex.
21. *Euctenurapteryx maculicaudaria* シロツバメエダシマク 1 ex.

PYRALIDAE

1. *Teliphassa amica* オオフトメイガ 1 ex.
2. *Crazeophora haraldusalis* ナカムラサキフトメイガ 3 exs.
3. *Herculia glaucinalis* フタスジシマメイガ 2 exs.
4. *Macrobotys luctuosalis* モンキクロノメイガ 1 ex.

* 寄せ蛾記 No. 4 の奥多摩の蛾類(1) および 寄せ蛾記 No. 6 の奥多摩の蛾類(2) の続きで、この回で終了。採集期日は1962年8月12~14日、採集場所は東京都西多摩郡大丹波村(海拔約400m)である。

5. *Macrobotys segnalis* モンシロクロノメイガ 1 ex.
6. *Nagia balteata* ヘリグロキンノメイガ 1 ex.
7. *Micractis nubilalis* アワノメイガ 2 exs.
8. *Pagyda amphialis* ホソヨスジノメイガ 1 ex.
9. *Hedylepta noctescens* キバラノメイガ 1 ex.
10. *Natarcha derogata* ワタノメイガ 1 ex.
11. *Phostria harutai* トチノメイガ 1 ex.

以上3回にわたって大丹波村で採集した蛾類を、12科107種を記録した。これらの他に飛び古した標本で私には手におえないものがいくつか数えられるが、他地域の蛾の整理の必要上、思い立つて割愛することにした。この目録が奥武蔵や秩父の蛾を調べる上で多少なりとも参考になれば幸いである。

(埼玉県産蛾類分布資料 15)

* 狹山市の蛾(I); シャチホコガ科 12種

鶴巻照夫・大島進一

今年の春から狭山市東三ツ木にある狭山駅電所に勤務することになり、仕事のかたわら常設してある高圧水銀燈や、持参していった青色螢光燈などで夜間採集をこころみ、その結果いくつかの興味ある蛾類を得ることができたので、今回は5月と6月に得たもののうち、シャチホコガ科12種を記録しておく。ここ狭山駅電所は埼玉県の南西部(東京都の北隣り)に位置し、周囲はクワや野菜畑で雑木林からは相当に距離があるが、意外と蛾の飛来数が多いことを知った(鶴巻照夫)。

埼玉県における蛾類の調査は比較的進んできているように思われるが、その主な調査地点は、(1)同好者の多い県南部(川口市・浦和市)と、(2)北西部の宝登山・三峰山付近に限られており、県の南西部からの記録としては天覽山付近のものが若干知られているにすぎない。従つて鶴巻の採集している蛾類は、埼玉県の蛾の分布をまとめる上に極めて有意義であり、長期にわたる経続的な採集成果を中心から期待したい。今まで採集された大量の蛾類は現在私の手もとにあり、同定が済み次第順次発表する予定でいる(大島進一)。

1. *Stauropus basalis* MOORE ヒメシャチホコ 1♂ 14. VI. 1966
2. *Fentonnia ocyptete* BREMER ホソバシシャチホコ 1♂・3♀ 26. VI. 1966
3. *Allodontia leucodera* STAUDINGER ツマジロシャチホコ 1♂ 1. VI. 1966
4. *Suzukia cinerea* BUTLER オオウグイスシャチホコ 1♂ 14. VI. 1966
5. *Peridea monetaria* BUTLER ルリモンシャチホコ 1♂ 6. VI. 1966,

* TSURUMAKI TERUO & OHSHIMA SHINICHI : Moths of the SAYAMA (I) — Notes on some NOTODONTIDAE from Sayama-city. — in total 12 species.

- 1♂ 26. VI. 1966
6. *Urodonta arcuata* ALPHERAKY ユミモンシャチホコ 1♀ 26. VI.
1966
7. *Desmeocraera cyanea* LEECH アオシャチホコ 1♂ 9. V. 1966,
2♂♂ 14. VI. 1966
8. *Rosama cinnamomea* LEECH ギンボシシャチホコ 1♂ 26. VI. 1966
9. *Uropyia meticulodina* OBERTHÜR ムラサキシャチホコ 1♂ 14.
VI. 1966
10. *Phalera assimilis* BREMER et GREY ツマキシャチホコ 1♀
26. VI. 1966
11. *Phalera fuscescens* BUTLER ムクツマキシャチホコ 1♂ 1. VI.
1966, 1♂・1♀ 26. VI. 1966
12. *Hybocampa umbrosa* STAUDINGER ギンシャチホコ 1♂ 26. VI.
1966

以上のうち6. ユミモンシャチホコは県内では今までの採集記録は1例にすぎない。また
9. ムラサキシャチホコは山地には多産するが、狭山市のような低地ではめずらしいと思わ
れる。

(埼玉県産蛾類分布資料 16)

——埼玉地方のシャチホコガ科の採集記録——

市川和夫

(1) *Micromelalopha troglodyta* GRAESER ヒナシャチホコについて。

本年6月18日に中臣謙太郎氏と宝登山に於て夜間採集を試みた際に、本県では未記録の
本種を得ることができたので報告する。以上で埼玉県産のシャチホコガ科は85種となる。

1♂ 秩父郡野上町 宝登山 (海拔490m) 18. VI. 1966
(採集者 中臣謙太郎, 標本は市川が保管)

(2) *Peridea basilinea* WILEMAN ネスジシャチホコについて。

本種が宝登山で採集できたことは既報のとおりであるが、完全に上着しているかどうか
を知るために、本年は4月から毎月1回の夜間採集を実施してきた。ところが4～5月
には成虫の飛来をみなかつたが、6月、7月には下記のように多数個体を採集することができた。
いずれも夜間11時～12時が飛来数がピークとなる。

10♂♂ 秩父郡野上町 宝登山 17. VI. 1966 }
5♂♂ 同所 " 18. VI. 1966 } すべて新鮮な個体。

[註] このほかに同行の中臣謙太郎氏が18日に約10♂を採集している。
6♂♂, 2♀♀ 同所 宝登山 16. VII. 1966 雌は新鮮な個体。

1) 市川和夫(1966): ネスジシャチホコの新産地. 昆虫と自然 Vol. 1, No. 1; p. 23

”三峰から太陽寺への

ぶらりあるき”

原 聖樹

浪人時代の一日、丁君（田村公憲君）と三峰山に登った。浦高生物部OB会設立の当時、会合の折になんとなくその気になつて、たちまち意気投合してしまったわけである。

1960年6月26日

さわりに山々が迫り、三峰登山口の大輪はいかにも「山間の渓谷」といった感じの所である。ケーブル駅のまじかに大きなアワキガ数本あって、その新緑が眼に痛い。折しも、採集姿の登山者が飄然と下って来たが、なんと思いがけなくも市川和夫先生であった。かなりの収穫があつたらしく、我々も気分を一新して坂を登る。それでもケーブル駅の内外の白壁には、まだ相当数の蝶が残っていたので、丁君と協力してめぼしいものを丹念に採集した。

今日は生憎の曇天で、薄日だに望むすべもない。下方の闇葉樹林に無数の蝶が飛交っているのがケーブルカーの窓越しに望見される。やがて山頂駅に到着、ここの壁にもやはり蝶が残つており、丁君はすことに上気嫌である。そこからは登路に沿つてしまら右側が崖になつて、付近はツマジロウラジャノメの生息地としておあつらえむきの景観を見せているのでちよつと気がひかれたが、もちろん蝶の姿はない（後に、矢野重明氏がここで本種を記録している）。聳立する杉の老幹を見上げながら三峰神社の鳥居をくぐった。

三峰神社から雲取山への縦走路を僅かに進んだ地点には、マンサクが少なからず自生しており、ここでミヤマクワガタの1合を得た。右手の開けた斜面（地名は大根畠）に数匹のヒョウモンが舞つていたので確認のため1合を捕獲してみると、やはりクモガタヒョウモンである。トラガがゆるやかに飛交っているのが印象的で、筆者もそのうちの1頭をネットに入れる。

第1化の新鮮なダイミヨウセセリがあたりを巡回し、ツチハンミョウが路を横切る。見通しの悪い登路を更に進むと、やがて太陽寺への分歧点となるが、道標が完備されていないと妙法岳への登路と間違え易く、我々も失敗してしまった。太陽寺への道はいわゆる奥秩父的な情緒が少しは残つており、さながらオヤジ（ツキノワグマ）の通路をほうふつとさせる。暗い小径をしばらく下つて恰好な氷場を見つめた。おそらく大血川の源流の一つとなるのであろうか。その小さな流れには、若干のサワガニとカワカラ類（編集者註　この渓流にはトワダカワカラが生息している）が生息していた。この間、ハナカミキリ類を相当数採集できただが、残念ながら現在その標本は残っていない。

そのまましばらく下つてゆくと、ようやく樹林が切れ、やや寂けた感じの所へ出た。下からかすかに瀬音が聞えるようになってくると、ほどなくして太陽寺で、ここでも寺の壁に無数の蝶が静止している。また、オオゾウが地を這つて走っていたので、これは参考品として採集しておいた。大血川はもう目と鼻の先で、コジャノメ・スジグロシロチョウが飛交う林道を一気に下つて、やがて川沿いのトラック路へ出る。ここからはネットを広げる機会もなく、暗雲が低くたれこめた谷間を三峰口へ向つて、ただひたすらに重い足をひきするのみであった。

今回の採集行で確認できた蝶類は、ダイミヨウセセリ・スジグロシロチョウ・ヒメウラナミジャノメ・コジャノメ・キマダラヒカケ（春型）・クロヒカケ・イチモンジチョウ・サカハチチョウ（春型）・クモガタヒョウモン等の普通種のみであった。また丁君が調べたかなり多くの蝶も、この地方で注目すべきものは得られなかつたということである。

—谷川岳付近の蛾—原 聖樹氏採集の蛾(2)

市川和夫

原聖樹氏の蛾の採集品のうち、白馬岳・針ノ木岳のものは北アルプスの蛾¹⁾としてさきに報告したが、その後、谷川岳付近で採集したものを筆者に提供してくれたので、その目録をここに発表し氏の勞にむくいたい。なお、谷川の蛾を採集した当時の様子は、アセチレン燈点火の記[3]、谷川連峰蓬崎²⁾という表題で、すでに同氏により紹介されている。

目録中、蓬崎の採集品に於ける *Perizoma taeniata saxeae* は、井上竜先生に同定して頂いた

I 土合駅(群馬県)の蛾: 5. VIII. 1963 (採集者 原聖樹)

ARCTIIDAE

1. *Spilarctia seriatopunctata* MOTSCHULSKY スジモンヒトリ 1♀
- NOCTUIDAE
2. *Bena japonica* WARREN ヤマトスジアオリンガ 1♂

II 蓬崎(新潟・群馬県境): 5. VIII. 1963 (採集者 原聖樹)

NOCTUIDAE

1. *Plusia stenochrysis* WARREN オオヒサゴキンウワバ 2♂♂
2. *Catocala nubila* BUTLER ゴマシオキシタバ 1♂
- GEOMETRIDAE
3. *Dysstroma citrata conformalis* PROUT ツマキナカジロナミシタク
4. *Venusia cambrica* CURTIS ミヤマナミシタク 1♀
5. *Perizoma taeniata saxeae* WILEMAN ヒメカバスジナミシタク 1♂, 2♀♀
6. *Arichanna melanaria fraterna* BUTLER キシタエダシタク 1♀
7. *Alcis picata* BUTLER シロシタオビエダシタク 1♂
8. *Ourapteryx obtusicauda* WARREN コガタツバメエダシタク 1♀
- PYRALIDIDAE
9. *Hedylepta tristrialis* BREMER シロアシクロノメイガ 1♂

短報

(埼玉県産蛾類分布資料 16)

宝登山のヤガ科4種

本年6月の宝登山における夜間採集の際に、比較的埼玉地方には稀な4種のヤガ科を得たので報告する。

1. *Antha grata* BUTLER ハイイ
ロモクメヨトウ
1♂ 宝登山 17. VI. 1966

2. *Siglophora ferreilutea* HAMPS-
SON トビイロインガ
1♀ 宝登山 17. VI. 1966
3. *Plusia zosima* HÜBNER
シロスジキンウワバ (埼玉未記録)
1♂ 宝登山 17. VI. 1966
4. *Ophiusa olista* SWINHOE
コヘリグロクチバ
1♂ 宝登山 17. VI. 1966

1)市川和夫(1966): 寄せ蛾記 4

2)原聖樹(1966): 寄せ蛾記 4

高校生物クラブ誌の紹介 —埼玉県大宮西高校生物部誌「あざな」—

- (内容については、昆虫関係のみを紹介する。学校所在地は、大宮市三橋)
- あざなし 1(1964); 斎藤良次(顧問): クロシジミ(埼玉南部の本郷について紹介)
あざなし 2(1965); 牧田 実(高1): 大宮市三橋の蝶(大蛾類36種の採集報告)
斎藤良次(顧問): 大宮付近のカミキリ目について(49種の紹介)
内田叔男(高2): 夜行性昆虫の日周期活動について
あざなし 3(1966); 内田叔男(高3): 夜行性昆虫の日周期活動について
植竹道吾(高3)・川村正吾(高3): 昆虫の蛹化とホルモン
富塚 昭(高2): 宝登山のチョウ(山麓から山頂付近まで4つに区分し、それぞれで採集したチョウの記録)
牧田 実(高2): 大宮市の蝶(大蛾類54種の記録)
小峰 博(高1): アメリカシロヒトリ(紹介文)

顧問の1人に昆虫類を調べている斎藤良次氏がおられる関係からか、毎年に昆虫関係の記事が多くなってきているが、目録類に採集個数(できれば雌雄の区別)の記述が無いのは惜しい。第3回の表紙にシロハラケンモンを使ったが、残念ながら硬筆で書の腕がさえないせいか、その種の特徴がていてない。荒川本流にも近く未だまだ自然が護されている環境にかかる学校なので、身近かな昆虫などの研究調査もできてうらやましい。